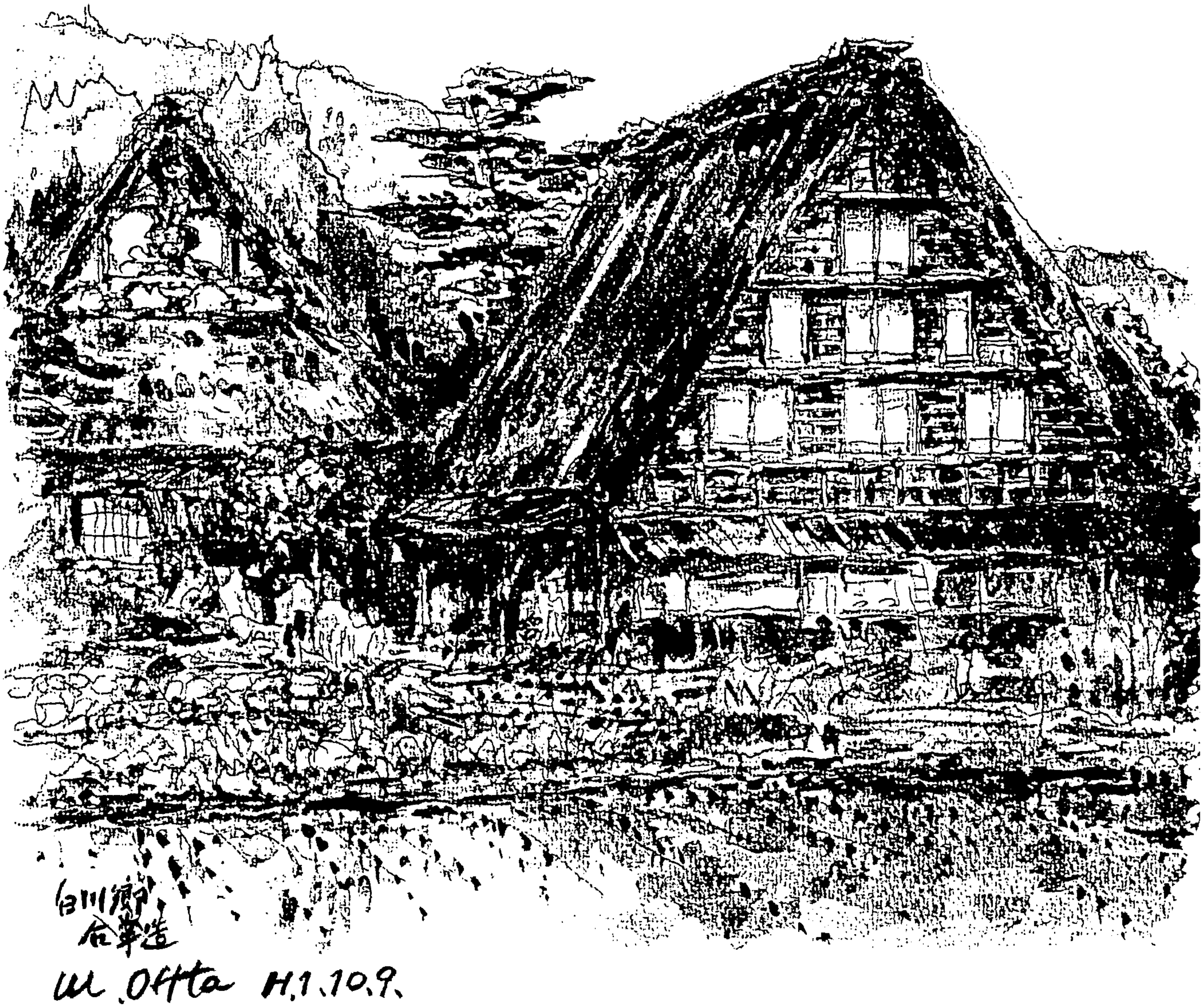
JCD KANSAI

Japanese Society of Commercial Space Designers

社団法人 日本商環境設計家協会 関西支部 情報委員会
〒550 大阪市西区南堀江 1-26 南堀江スカイハイツ1201号
☎ 06-543-0680

平成元年11月
第20号



目　　次

■ JCD商環境セミナー'89 大阪 研究開発委員会 …………………………… 3～7

■ 海外レポート ………………・アルファジャパン…森山　肇…… 8～9

■ すぎしん衣裳総本店 …………………… ㈱布谷　河野健二……10～11

■ 四つの環境を持つ御堂筋 ……………………… 太田真昭……12～13

■ サマーパーティー ……………………………… 組織委員会………14

■ 事務局だより……………………………………………………………15

表紙 ——— 白川郷　合掌造り

（水彩スケッチ）太田真昭

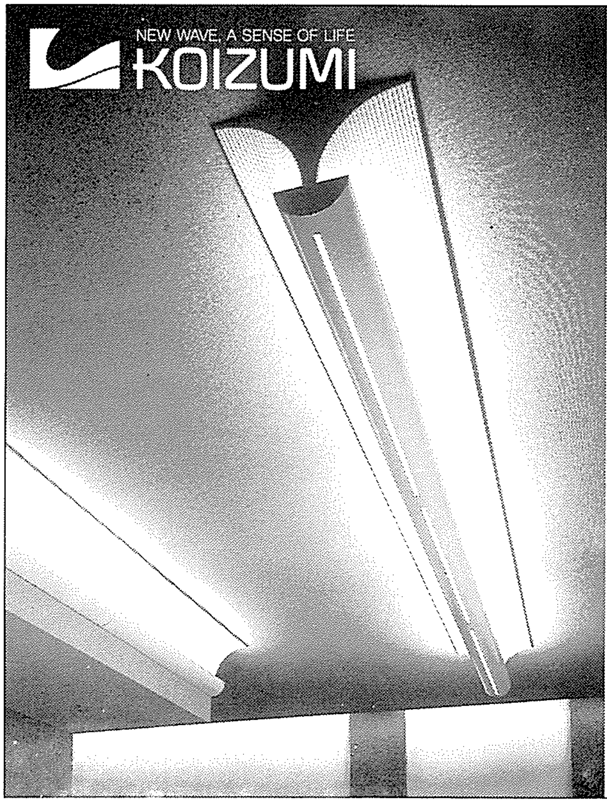
広告索引

松下電工株式会社…………裏表紙

小泉産業格式会社…………表紙裏

東り株式会社………………6

株式会社キノシタ……………7



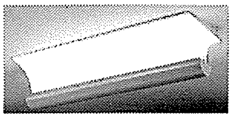
これはもう 光天井。

インダイレクトユニットINVENT

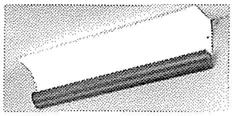
インベント

コイズミから新しいFLインダイレクトユニットINVENT誕生。レフレクターで反射された光が本体のバッフルで柔らげられ、空間全体に広がります。光の表情の豊かさ、展開の可能性、そのいずれもがINVENTの格別の良質さを物語ります。

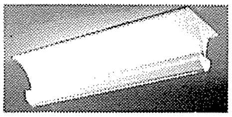
●**天井取付けタイプ**(AH-72515)
空間のコア照明に。反射板つきセード(3色)と組合わせます。直線連結展開もできます。



●**天井・壁面取付けタイプ**
(AH-71515)
反射板つきセード(3色)と組合わせて、壁面演出に。直線連結展開もできます。



●**スリット入セード**(AE-90464)
AH-72515に取付けると、全体光と、スリットからの下方光が得られます。



小泉産業株式会社

照明事業本部　TEL.06-262-0861
〒541 大阪市中央区備後町3丁目 長谷ビル3F
本　　　社　TEL.06-262-1751
〒541 大阪市中央区備後町3丁目3～11
東京支社　TEL.03-847-2521
〒110 東京都台東区下谷1-4-10 上野SKビル

JCD商環境セミナー '89大阪

――研究開発担当委員会

去る平成元年10月13日金曜日に、商環境設計家協会研究開発委員会を中心として、初中級者を対称としたセミナーを、〝マイドームおおさか〃で開催した。

この日は仏滅で、皆様もごぞんじかと思いますが西洋でも不吉な日とされている13日の金曜日とかさなり、アメリカにおいても、コンピュータージャックのうわさまでとびかい、株が暴落するというおまけまでついたが、マイナス＋マイナスはプラスになると勝手な解釈の元で参加人員80人内、役員15人という人数で、セミナーがにぎやかに開催された。

講師　郷力憲治会員

第1時限目は郷力憲治会員の講演ではじまった。浪花を代表する老舗「花外楼」は明治維新の折、勤皇の志士の集いの場となり、世に言う「大阪会議」の舞台にもなり、170年の歴史をもっている伝統ある店舗であるが、「心の集い」をテーマに新しい感性のもつ新食文化提案ビルとしての「アイル・モレ・コタ」そしてアベノ近鉄店「花外楼」は古きよき時代、本物への憧れを都会的感覚で現代に迫る日本文化の提案とし、商家のたたずまいをもとにした店づくりを……との内容をスピーチとスライドによる2時間の講演であった。

講師　友田みのり会員

第2時限目は、友田みのり会員よりギャラリー「リチャード」のデザイン提案、プレゼンテーションから決定までの経過を、ロゴ1つにおいてもオーナーがもっているイメージ、ポリシーをふまえ、何種類もの案を提出してのち、その中から両者のもっとも良いと思われるものが、決定される事など……又、ディスプレイについては「ポニー」店を例に、店のポリシー、イメージ、製作等、素材選びから施工方法、そして最近ののディスプレイの傾向など、商品を売るディスプレイだけではなく、店のポリシー・店そのものを売る為のものになってきている事、そして人間としての経験はものをデザインする事にもつながっているという内容のはなしであった。

講師　今西茂雄会員

第３時限目は、今西茂雄会員の講演で
今西先生が事務所を始められた時は、ビルの１部を借りて、ハダカ電球１つで、ほとんど24時間働いていた事など独立時のお話し、堺東アピア、ニュージャパンビル、星野温泉、かに道楽、住宅等、その図面が決定するまでのアプローチの仕方、施工時に、失敗して完成が何日もおくれてしまった事、等プリントの図面、パースを見ながらの講演であった。

デザインをする時は、何をソースに考え出されているかという質問に対して
〝常に頭の中で何種類も図面をえがいて、その中から選び出している。あとはインスピレーションによるものである〟と解答され、若手デザイナーに非常に参考になる体験談を聞く事が出来た。
13日の１日参加者全員が何かを取得してくれたものと信じている。　山田悦央

参加者のことば

多くの参加者の中から、会員以外の方々も含めいろいろと聴講のご感想をおききしました。講師の魅力感など有益なセミナーという内容が多く、これを基礎に立派な職人として、今后共ご活躍して下さい。又このような事業の計画も継続してゆく予定です。

㈱船場　岡崎　順

●今回の講演会は、違った分野で活躍されている方３人のお話を聞くことができる良い機会であり、それを比較するという意味で新しい発見がありました。
郷力先生からは３分の売り込み方（プレゼンテーション）、物の考え方などを学びました。〝単純なことを時間をかけて考える〟という言葉が特に心に残りました。人間的にも魅力的な方だと思いました。
友田先生は男性にはない女性本来の物を仕事に発揮し生かしておられるという点が理想的であり、同じ女性としてベストの形だと思いました。発想の仕方など、もう少しソフト的な話をお聞きしたかったのですが。
今西先生はかなり広い範囲（住宅からリゾート施設、商業施設まで）に渡って活躍されてこられたようで、〝設計は、基本的にはみな同じである〟という言葉に説得力がありあらためて考えさせられました。

全体的に感情面、感覚面で吸収したことがかなりあったのでこれからの自分の指針には大変プラスになりましたが、知識面で参考になることが少なかったということが残念です。

㈱コムインターナショナル　奥野美香

●仕事と人生の先輩方のお話をきき、私なりに学んだ事は、デザイン・設計する者は、デザインや芸術性だけに走らず、オーナーの心、客の立場を包み込んだ上で、仕事をしなくてはいけない。客が物欲や食欲を満たす為だけにくる店でなく、心をも満たす店、「買物した」「おいしかった」から、「いい店で買物した」「ムードのいいおいしい店だった」までもってきて、初めて、商と客とのコミュニケーションが成立し、「来る店」でなく「集う店」になる事を学びました。そして、オーナーさんのいい商いのパートナーとなり、食文化、物文化を創造していく立場なのだと感じました。私はそうなる為に、食わず嫌いをせず、様々な事（情報）を取込んで、消化し、必要な物は吸収し、不必要な物は、排除するという体がくり返してきた事を、心と頭でもくり返し、知識にしたいと思います。

㈱布谷　鍛治有香

●ＪＣＤのセミナーに参加したのは初めてだったので、最初はもっとかたい話が続くと思っていました。でも、今は参加して良かったと思っています。私のような、まだ、この業界のことをわかり始めたばかりの者にとっては、大変興味のある話ばかりでした。いつも、私がとまどいながらやっていることを、しっかりと自分を主張しながらこなしていることに

すごく感動しました。まだ、美大の学生だったころ、社会の厳しさなど全々わからず、大きな夢を持っていました。

社会人になって6ケ月たった今「私にはやれないのでは…。」という不安がでてきました。でも、講師のみなさんの話を聞いて「まだ初まったばかり。もっと勉強してがんばらなければ。」と思いました。以前、私があこがれていたことをしっかりやっている人がいると思うと、憧れだけで終わらせたくないと思いました。友田さんのように女性でも、自分をちやんと持って仕事をしている方がいると思うと、自分もがんばろうという気持ちになりました。

とにかく今は、何でも吸収して、自分の考え、感性をしっかりと持ちたいです。

今回のセミナーは、自分を見直すよい機会になりましたし、仕事の上でも大変参考になりました。企画の仕事をしているので、他の方々が作るプレゼンを見てみたいと思っていたので、郷力氏がスライドで見せて下さった〝アイルモレコタ〟プレゼンは大変、参考になりました。

次回、こういうセミナーがあったら是非、また参加したいと思います。先輩方のお話をもっと聞きたいです。

㈱布谷　左鴻辰美

●私は、JCDセミナーに出席したのが今回初めてでしたが、本当に参加して良かったと思いました。それぞれ3人の講師の方々の貴重な話や同時にプレゼンパネル、作品をスライドにて説明してもらい、その説得力の豊かさおよび作品の完成度の高さにキャリアと優れた才能を感じました。又、仕事（作品）に対する熱意、意気込みが人並みでないのも感じました。

得に郷力氏の最近の作品の中で『アイルモレコタ』『花外楼』アベノ近鉄店の話に魅了され、昼食の休憩時に『アイルモレコタ』でランチを食べようと松原氏、井上氏を誘い北浜1－34へ行き、郷力氏の説明されたことを実際に視覚で確かめ『アイルモレコタが単なる複合飲食ビルではなく、街に息づく都市装置、人・情報のネットワークで構成される新しい商業空間の創造』である事を認識しました。

最後に今回JCDのセミナーの募集人員／100名と記載されてましたが、もっと大勢の人達に聞いてもらってほしいと思った。だって、本当に勉強になるし、刺激を受けれると思うから!!

㈱布谷　立花尚子

●今回初めてJCDのセミナーに参加しました。中でも友田先生のお話は母親であり、職能人としても立派に活動しておられるということもあって大変興味深く聞けました。

結婚後も仕事ができるということは私の理想なので大変羨く思われました。

結婚前「松田店舗」で10数年勤めておられたことが、友田先生にとって結婚後の活動で良い方へ繋がりのあるものになっていると思います。そういう基盤があるから7年というブランクがあっても仕事の再startができたのだと思います。

結婚するまでの仕事の大切さを新めて思い直しました。

毎日が同じことの繰り返しの中で、流されてしまっている私に考え直させるセミナーとなりました。

今、私が何げなく過ごしている時が大事な時期なのだと思います。

あきらめかけていた私は、友田先生のお話しによって生活の中に張りをみつけるために意欲的に過ごしていけそうな気がします。

意欲的な活動を続けておられる人たちと、いつか接し合う時が来ればいいのにな。……

㈱船場　筒井秀明

●今回のセミナーは、個性の違った三人の先

生による、それぞれのテーマでの講義であったので、非常に興味があり、受講させていただいた感想を述べさせていただきます。

まず第1時限目の乃村工藝社の郷力憲治先生による講義で、テーマが「食文化発信と定着」であった。この講義では、プレゼンテーションの方法を「アイル・モレコタ」という複合飲食ビルの具体例を通して学びました。まず15枚という数のプレゼンボードで、「全体のイメージ」→「アイルモレコタの歴史」→「立地条件」→「抽象的な写真による素材感の表現」→「ビルの機能」→「ドローイング」→「各フロアーのイメージ写真」→「夜と昼それぞれのイメージ写真」と進んでいくのですが、それぞれプレゼンボードに貼られている数枚の写真や絵には、それぞれに重要な意味があり、15枚ものプレゼンボードにより、施主の心が郷力氏のコンセプトへと、道引かれているのである。

確かに、私自身このビルの写真を見た時はそれほどすばらしいものであるとは、思っていなかったのですが、15枚のプレゼンボードの説明、またそれぞれに秘められた狙いを聞くうちに、アイルモレコタに対して、最初のイメージから一転して、奥の深いコンセプトがわかり、非常に感銘をうけました。

1限目で学んだことをまとめてみますと

1. プレゼンテーションの基本と応用
2. オーナーに対する説得の方法
3. 設計の基本

イ.動線　ロ.機能　ハ.オブジェ、照明、サイン、家具それぞれの効果的な使い方、等、

以上の3点になると思います。又、迷信によってビルの中心に厨房が出来たという点が、たいへん私には滑稽であった。

次に、2限目は、友田みのり先生による講義で、テーマが「商環境のビジュアルデザイン」であった。一口にデザインといっても、たいへん幅が広く、この中で、パッケージ、ラベル、サイン、包装紙、リボン等が、いわゆるビジュアルデザインの一部であるが、たいへん繊細なデザインである。

これこそ、今私が忘れがちなデザインだと思う、面一つを例にとっても、図面上にボーズ面「▨」と記入するのは、簡単であるが、少し頭をひねれば沢山のよりよいデザインの面の広がりがある。色にしても、同様で「赤を探すために、見本をめくるのだが、赤にも、何十種類の赤がある、その中でよりイメージに一致した赤を探すことが、繊細なデザインなのです。2限目のビジュアルデザインにおいては、

1. 各パーツにおけるデザインの繊細さ
2. 女性らしいデザインのすばらしさ
3. 楽しみながらデザインする事

と多くの事を感じ、学んだ。

3時限は、今西茂雄先生による講義で、テーマが「スポーツ&レジャー施設」で、今西先生からは、まず、発想の方法を、日頃、電車に乗っている時間や、歩いている時間も常に、頭の中に、まとまらないプランや、考えを入れておき、いつでもアイデアやプランを引き

国産初
原液着色ナイロン
タイルカーペット

グランドアート
GA-8000
全厚 7mm×500mm×500mm

特徴
●イタリアのカラーデザイナー クリノ・カステッリ氏によるニューカラー
●褪色しない ●漂白剤にも強い ●流し貼りが出来る

人・生活・空間－そこに東リ
東洋リノリューム株式会社
西日本営業開発部　06-943-1645
大阪市中央区大手前1-7-31 OMMビル7F

出せる態勢をとっておくというのであった。

この事は、誰もが出来そうで、出来ない事だと思う。もう一つ発想の方法として、まずごく、ノーマルなプランをたてて、そしてそれとは全く反対のプランを作るという事によって、発想の幅を広げるという方法で、この方法も是非私は、自分に取り入れたい方法である。この3限目において

1. 有効な発想の方法
2. 大胆な発想の方法
3. 常にコンペなどに参加し、挑戦するという基本姿勢、以上の事を学んだ。

最後に、今回の講義を通して、私が感じた事や、学んだ事を、これからの仕事や、生活に取りいれたり、又、実行していくかで、自分自身が、これから伸びていけるかがかゝっていると思います。そして必らず、今回学んだ事を、自分の物にするようにがんばりたいと思います。

㈱布谷　宮本優美

●講師の方、それぞれが得意とされる分野が異なり、BEGINER にとっては視野を広げる良い機会となりました。
自ら手がけられた物件が紹介され、実地に業務に就いた人でなければわからない話をいろいろと聞くことができておおいに勉強させていただきました。
しかし、テーマとして掲げられていた〝発想〟〝表現〟という点については、各々の事例紹介を通して主張されるにとどまっていたように思います。デザイン・発想及び表現等の問題について常々考えておられることを様々な視点から語られることを期待していたので、この点については少々物足りなさを感じました。

㈱船場　藤澤哲也

●三氏の講演（郷力憲治氏・友田みのり氏・今西茂雄氏）の中で、私が一番興味をもちましたのは、乃村工藝社の郷力氏の話でした。花外楼とは大阪では日本洋理で5指に入る老舗であり、その老舗が保守的な体制をやぶり「老舗は常に新しい」という花外楼社長の言葉を如実に表わした店である「アイル・モレ・コタ」を手掛けられました。このアイル・モレ・コタとは、インドネシア語で美しい水辺の街という意味であり、八層の各フロアにはインドネシア語で街という意味の様々な呼び名が付けられています。郷力氏はクライアントへの説明として図面提示はせず、各フロアごとのコンセプトを全て写真でされ、その写真も見ましたがかなりイメージを沸せるような上手に表現してありレイアウトであると思いました。写真と、あとはコミュニケーションでクライアントにイメージを摑ませて説得するという手法を使われて、図面を一切見せないのが印象的でした。組織に属して自分の能力を存分に発揮されている点でも興味がありました。

自分も組織の一員としてこれからも一層努力を続けていこうと思います。

JCD北米5都市＆リゾート 商環境デザイン見聞（食）記

アルファジャパン　森山　肇

例年になく空梅雨の日本から、北米へ向かって旅立ったのは、6／10であったなと、何か遠い昔を思い出すかのごとく、今、原稿用紙に目を落している。

久しぶりの海外、まして北米は、はじめてとあって年涯もなく興奮しつつ最初に到着したのは、ロサンゼルス、世界最大のヨットハーバー「マリナ・デルレイ」ボートに興味のある人にはよだれがでるような50～150フィートのボートが、何百隻も繋留してあるのを見ると、日本のGNPがアメリカと同等という経済紙の表現は、まだまだ一部分ではないかという思いにとらわれた。

またもう一つ驚たことは、ハーバーフロントの超一流のレストランの外装が錆だらけのトタン板で出来ていたのである。今では日本でも見かけないが、20年ほど前の町の鉄工所そのままの外装で、内部のみが一流のホテルなみの綺麗さであった。内外の正反対の内装が、客に受けているようである。（写真右）

次の訪問先トロントに着いたのは現地時間の21:00、さっそく腹ごしらえのため、小グループで中華街へ、目的の店があるわけではなく、あたりはずれのない様にするのにはどうすればいいか、まず食の初歩原則、数ある店の中から中華系の人が多くはいっていて、一番活気のある店を選んで入ったがこれは大成功、美味しい料理おなかいっぱい食べて、酒もたらふく飲んで、私をも含めた某三人が、漫才をやりテーブル上大爆笑になるほどの大宴会をやって何と支払が、1人当たり3,000円弱、後で皆一同異口同音に行った言葉〝信じられへん〟。またこの時にグループの一人が

ヨークであるが、タクシーに乗って目的地と反対方向の下町へ行きかけて慌てて飛び降りたり、あたり屋に当てられそうになって、走って逃げたりして、少し危険な目にあったが、非常に刺激的な街である。アメリカを代表する情報の中心街であり、ファッションの発信地であるというのもあながち誇大表現でもあるまいと思った。

春巻きを英語で言うと、スプリングロールというのだといい、店員さんに注文したが通じないので我々は冗談だと思っていたが、後日モントリオールの中華街では通じたのには驚いた。さて話が横道へとそれたが、次の訪問先のローレンシャンは山間のリゾート地で２日間の滞在は先進国サミットでレーガン氏が宿泊した、ル・シャトー・モンテベロ・Hに宿泊、ログハウス造りの建物は非常に興味深いものがあった。それ以上に山間の休暇は乗馬・テニス・ゴルフ・サイクリングなど各自がそれぞれ、自由に色々なものを楽しんだ様である。仕事に追い回されている人にとっては、２～３日はよいが１週間も２週間も滞在すると苦になってきそうで、まだまだ休暇の過ごし方は欧米人の足もとにも及ばないようである。

さて、次の訪問先のモントリオールの早朝のダウンタウンもすばらしかったが、古い建築物の外装は、そのままに内部のみ近代的にリニュアルしている物件を、数多く見学したが、その手法には、舌をまくばかりで、日本でも今後この方向の手法の発達が重要になってくるのではないかと思った。さて最後にニュー

残念ながら１日の滞在ではほんの一部しか見れなかったが、刺激的な面はもう一度訪問したいと思わせるに充分な物がある。今度はニューヨークの街だけを訪問したいものである。

以上とりとめもなく羅列舌「見聞（食）記」でありますが、ＪＣＤ会員諸氏に、私も一度参加してみようかと思っていただければ幸いです。

私も年に一度ぐらい頭の刺激のため行って見たいものだと思っております。

すぎしん衣裳総本店　三重県津市

㈱布谷　河野健二

古くから地域の人々へ、ブライダルを通じてサービスを提供することをモットーに営業されており、今回のリニューアルは、そのシンボル的存在になるべく視覚的にも具体化させることを目的としている。

正面のオブジェ（人生の門）は「母なる地球よりの産物＝人間」を表現しており（用沢オサム氏作）

これを中心に、各フロア内装とをゆったりと安らいだ雰囲気の中での談話ができるように設計されている。

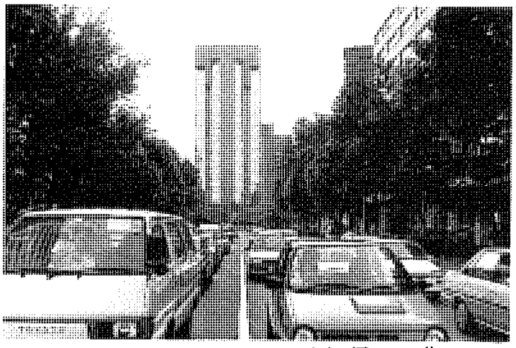
1F・フロント・ティールーム 礼服（レンタル）	61.7坪
2F・和装フロア	74.8坪
3F・洋装フロア	76.8坪
4F・新郎 新婦のフロア	57.2坪
5F・特別フロア	13.6坪

仕上げ。外壁ファサード
　ダコダマホガニー（石貼り）
　フッ素樹脂塗装（アルミパネル）
ロビー　床　ダコダマホガニー
　　　　　　デザイン貼り
　　　　柱　グリジオカルニコ
　　　　　　デザイン貼り
SUSH。L．etc.

四つの環境を持つ御堂筋

——その考察——

太田眞昭



▲大江橋から北をみる

●古くから大阪（なにわ）で呼ばれていた「○○筋」という呼称は日本の中でも類をみないもので、アベニュー（南北）とストリート（東西）が海外で一般的に呼ばれている区別と相い通じるものです。海外に多い放射状や斜め路の道路計画とちがったグリッド状を示す日本の主たる歴史的都市道路は方位を示しやすく、生活に直結するものです。「御堂筋」の他に、現代大阪市内にも玉造筋、上町（ウエマチ）筋、谷町筋、松屋町筋、堺筋、三休橋筋、四ツ橋筋、なにわ筋、等の南北大通りに関する呼称は、なじみのものでこの中央に御堂筋が在り歴史的にも古く、近代都市のシンボルとして、大正10年に内閣の認可を経た第一次都市計画事業でありました。現在の阪急百貨店前から堂島川を渡る大江橋、淀屋橋がかかる土佐堀川から船場を抜け北、南御堂の東側を南下して今は埋立てられた長堀川を渡り、島の内を道頓堀川から難波新地高島屋に至る、4,500米に近い距離を、平均道路巾員43米余（両歩道を含む）で改修した当時の計画はその時代背景の中で大変な決断だったと言われています。

この道路は更に北方へ梅田十三線と南方へ難波住吉線に直結させ大阪の北摂と遥か泉南に及ぶ遠大な都市のネットワークを意味する程の計画でありました。

今は各所で新しい自動車交通路が整備され、都市計画はインテリジェント化の中で車と情報社会の真只中に生きています。

私達は現代に至るまでのこの御堂筋の起爆的点火の意味とその影響を授受している認識を新に感じます。

●このような近代化のリーダーを担った御堂筋も、或る距離を持っていろいろな個性を示す環境をつくりつつあります。ビジネスの街を竹串のように走る一本の線から文化、商業、アミューズメントの新計画の実現と、関西新国際空港の拠点と考えられるミナミに一端を持つ御堂筋の様変りを見るこの頃です。道路は都市の血管であるように、大阪市の屋台骨となるこの御堂筋も南一方通行になって久しいことですが、ニューヨーク等大都会で見られる車社会と都市機能の発達がこのようなシステムをもたらし、現在は更にその機能を倍加させております。しかし現在では、或る曜日と時間帯には、中央側にまで不法駐車が行われるミナミ界隈は、道路の機能をしないことすらある現状が、一つの社会問題にまでなっております。しかし両側のビルに囲まれた道路空間に植えられた樹々は、そこに在るショーウインドーや、歩く人々と季を一にして四季を感じさせる貴重な空間でもあります。

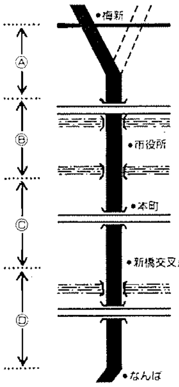
人間にとって自然即ちここでは四季のあることが、第一の魅力です。私は30余年前から御堂筋の近くに事務所が在る関係から、今日迄この道路環境の移り変りをみて参りましたがその特長は、

1. 高速自動車専用の高架橋が3本も横切ったこと。
2. 梅田から難波までビルの改築が進み高さを変え個性あるファサードが出現した。
3. 歩道の完備と街灯の整備。
4. 市役所改築による周辺の大整備、公園化と樹木ライトアップ。

以上が現在までの大きな変化でしょう。都市機能の発展に伴う、この屋台骨も、多くの要素を持つ近代的道路に変化しております。

梅田から難波迄、毎年ショーウインドーコ

ゾーン	区　間	形	行　動	色　彩	風	光
Ⓐ	梅田阪急百貨店 ○ 大江橋北詰	ドッグレグ	そぞろ歩き 緑　地	グリーン	そよ風	緑　の　風 ライトアップ
Ⓑ	大江橋北詰 ○ 淀屋橋南詰	スクエア	足をとめて 公　園	ブルー	水面の風	光　演　出 ライトアップ 夕　焼　け
Ⓒ	淀屋橋南詰 ○ 新橋交叉点	トンネル	せかせか 谷　間	グレー	無・突風	街　　灯 点　　光
Ⓓ	新橋交叉店 ○ 難波高島屋前	エリア	行ったりもどったり 界　隈	カクテル	ベランダの風	ネ　オ　ン カクテル 動　・き



ンクールの審査の折に移り変る御堂筋の環境を見て、全体を区分することができると考えます。

●それは四分割して夫々にキーワードを書くと、別表の示す如く表現できると思います。

Ⓐから Ⓓ 迄の四つの区間は、夫々が特性を持ち、今後もこの傾向が区間毎に強調されてゆくか、4,500米が均一化した源境になるか?行政と市民レベルの感覚が育てあげる使命を持っていると考えられます。

今では御堂筋に面したスペースを単なる移動目的のみでなく、楽しくそぞろ歩きできる道となってきています。難波から心斎橋間を見て参りましたが、その24時間の表情の様変りはより快適な人間味を帯びたものに変りつつありますし。しかし長い距離の中では、写真のように問題のところもあり、皆様もいろいろな角度からご意見があると思います。その一つに、車社会に絶対必要な高速専用道路がこの御堂筋を三本も横切っています。中間に一本の柱もなく、道の上部を跨いだ構造は下を威圧するかのようで、又構造上必要な条件である鉄製の大橋桁はこの大阪に限らず、日本各地にも見受けるものです。今や橋梁や土木設計も環境とマッチした美的バランスと形、色彩に留意して新しい建造が進んでいかなければなりません。

橋一つにも都市の中にあってそのエリアに融け込んだ個性を必要とします。特に世界各地でみる建造物はその都市のシンボルともな

▲千日前通りの自動車高架橋(阪神自動車道)が御堂筋を横切る

る程の立派なものが多く見られ、感動すらおぼえます。

一旦建設されたら、簡単に取り壊しが出来なく数十年もその醜い姿を晒すことになります。

今ではコンピューターによる設計が常識化しCADによるシュミレーションが簡単に描けます。このデータとシュミレーションをもって、最も条件（工法、形状、色彩、そして見える角度と視点の移動、施工予算）に適したものが、人々の意志で決定されると思います。

大江橋の上にかかる橋と中央大通にかかる橋桁、千日前にかかる三つの形がちがっていればドライバーも歩行者も御堂筋を楽しくさせる要素としてくれるでしょう。トラスやアーチ、色彩の変化は、企画設計する方針決定によって実現します。これはハードに加えて必要なソフト、即ち環境デザインの力なのです。

●フランス革命200年の大イベントを見て、パリ祭と共に数多くの都市環境の改修と新しい建造物、施設は、古いパリ市の環境の中に新しい息吹きを吹きこむ、最も良い例と思います。御堂筋を中心に考えて横軸の位置に文化施設の拠点を持ち出した、大阪の国際的な質の転換は、大いに歓迎すべきです。特に一番新しい樹木のライトアップは、新しい環境づくりの目玉です。

恒例になった、御堂筋パレードやショーウインドコンクール、フラッグやライティング等、四季を通じたイベントの最大効果を発揮させる舞台、即ち御堂筋の整備は市民のモラルも含め、官民一体となって我国の代表的道路の象徴となるよう、願っております。

天神祭と同時開催
JCDサマーパーティー盛況

7月25日、天神祭に照準をあわせた今回の話話室＆サマーパーティーも6回目を迎え、祭のメーンイベント船渡御も見おろせる、という北浜のアイル・モレ・コタにて開催いたしました。

話話室では〝チータン〟こと尾崎千秋氏の軽快なおしゃべり、題して『ちょっとしたコツ・注意でなれる話し上手』

その後のパーティーでは、奥脇専務理事や奥野中国支部長と渡辺会員、そしてカナダからも留学中のANDERSSON兄弟など、今まで最高の90名の参加があり、大盛会のうちに無事終了する事が出来ました。

次の年忘れパーティーも楽しい企画を用意していますのでよろしくお願いいたします。

（組織委員会　里吉グループ）

訃　報

ＪＣＤ会員で㈱英進社長の渡辺佳昭氏が先般急逝されました。哀惜の念にたえません、つつしんでご冥福をお祈り申上げます。

渡辺氏と私とは年令的にも兄たり弟たり難い間柄で長らく親交をもたせて頂きましたが、多忙な事業活動のかたわらＪＣＤの会務全般にも常に積極的にご協力頂き、しかも万事控え目でソフトなお人柄は誰もが認めるところであり大変惜しい人を失った想いが強い昨今です。

まだまだ年令的にもご壮健で内外ともにご活躍頂きたかったのですが、幸いにご子息の彰君が事業のことは勿論父君の跡を継いで立派にやって行かれるので結構だと存じます。ご子息のためにより一層のご発展ご活躍をご期待申しあげたいと思います。

ここに故人をしのんで つつしんで追悼の言葉を述べさせて頂きます。

赤松良一
㈱赤松店舗研究所代表
JCD常任理事　研究・開発委員長

各委員会だより

●**組織委員会**　5月26日㈮ 18:30
- 理事会報告
- ビアパーティー及談話室の計画

要、里吉、岡、白井、南原、大菅支部長

●**組織委員会**　6月23日㈮
- ビアパーティー及談話室の計画

要、馬田、里吉、岡、白井、広瀬

●**組織委員会**　7月25日㈫
- 夏季パーティー開催会場にて
  パーテイーと談話室　実行打合せ、

要、池島、馬田、里吉、猪多、市川、岡、白井、南原

●**研究開発委員会**　8月17日㈭
- アジア三国会議開催情報
- ＪＣＤ商環境計画セミナー'89 大阪の計画検討

赤松、植沢、大田、山田、郷力、藤永
大菅支部長

●**組織委員会**　8月25日㈮
- ビアパーティー収支報告
- 九州支部、アジア三国会議情報伝達
- ＪＣＤ年度総会（名古屋）
- 大阪デザイン団体連合各種参加合同イベントについて　検討
- ＪＣＤセミナーの応援、新入会員の募集活用の検討
- 年末忘年会の準備開始

要、里吉、岡、白井、藤永、大菅支部長
山田悦夫（研究開発委員長）

●**研究開発委員会**　9月4日㈪
- ＪＣＤ商環境計画セミナー'89 大阪の計画、実施

赤松、山田、大田、藤永、大菅支部長

●**情報委員会**　9月5日㈫
- ＪＣＤ－ＫＡＮＳＡＩ　20号発刊計画
- ＪＣＤセミナーの情報連絡

太田、久保、大菅支部長

●**組織委員会**　9月22日㈮
- ＪＣＤセミナー開催
- ＵＳＤ－Ｏ　デザインナーレ大阪　開催
- アジア三国会議開催
- 忘年会開催及当委員会年末慰労会開催、以上情報連絡と計画検討
- dda 30周年記念シンポジウム関催
  大阪にて「30年後の デザインビジネス」

要、池島、白井

編集後記

毎回、少しは変わった企画をと考えておりますが、あいかわらずの結果に終り、誠に残念です。また当方の一方的な原稿依頼に御協力いただきました各氏には、大変ご迷惑をおかけしました事、深くおわび申し上げます。
読者の皆様にも何か良いアイデア、企画がございましたら、当情報委員会まで御一報下さいますよう よろしくお願いいたします。　T.S

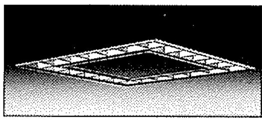
Nashop

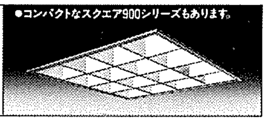
A&i
快適を科学します

新光源96Wツイン1蛍光灯を搭載して
スクエア1000シリーズ、登場。

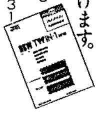
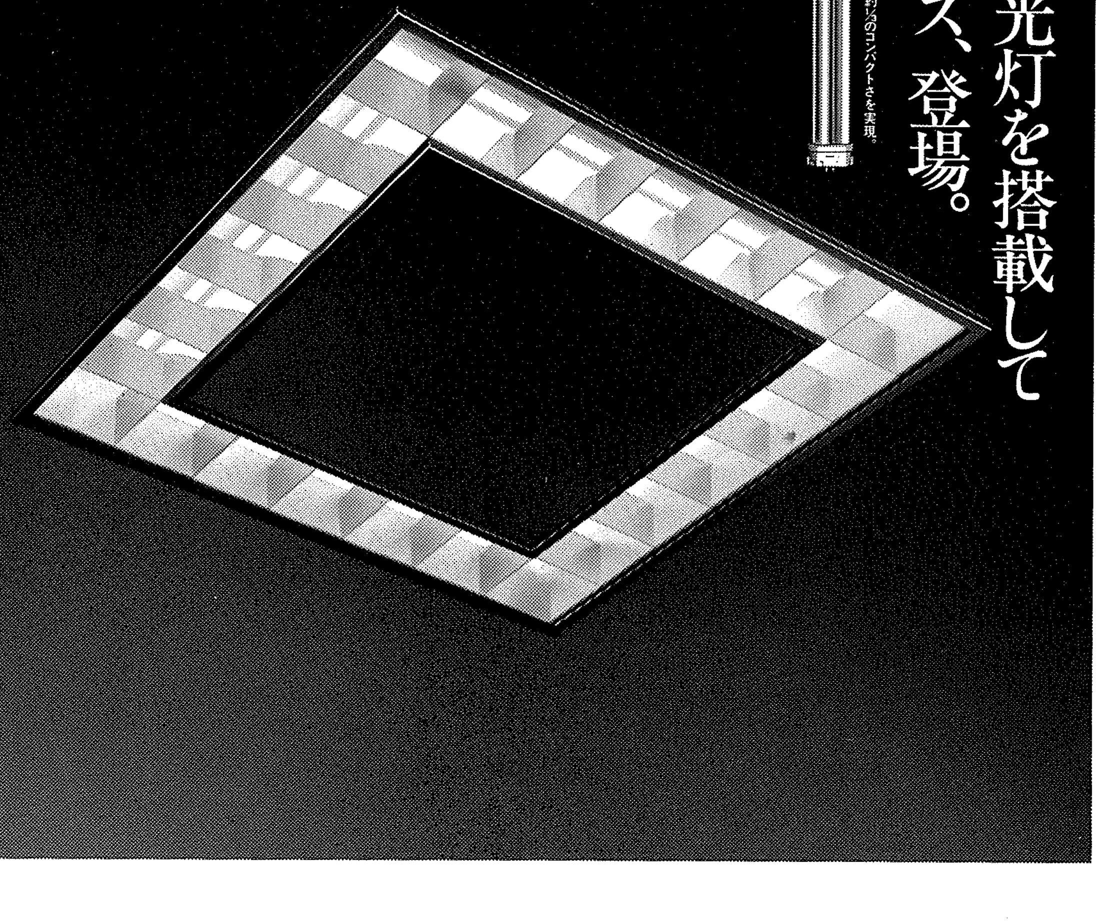
◀96Wツイン1蛍光灯は明るさ8,600lmで長さ860㎜。110W直管蛍光灯とほぼ同じ明るさで約1/3のコンパクトさを実現。

コンパクト、ハイパワー、高演色性のスクエアシリーズに、新開発96Wツイン1蛍光灯4灯を□型に配したスクエア1000シリーズが登場。配光特性・器具形状ともに方向性がなく、ワイドなバットウイング配光器具と円配光器具が揃っています。もちろんインバータバラスト搭載で、省エネ、高効率、瞬時点灯、チラツキカット、軽量・小型、50/60Hz共通です。


スクエア1000シリーズ
96Wツイン1蛍光灯
4灯(パルック)
NFE84716ENH
標準価格159,000円(税別)


●コンパクトなスクエア900シリーズもあります。
スクエア900シリーズ
96Wツイン1蛍光灯
4灯(パルック)
NFE84700ENH
標準価格143,000円(税別)

店舗用照明器具

National 松下電工 スクエア1000シリーズ

■詳しいカタログを差し上げます。
●カタログのご請求、お問い合わせは、
〒571 大阪府門真市門真1048
松下電工・電機 企画室・スクエア
JCD関西PR係☎06(908)1131